

船舶事故調査報告書

平成21年10月29日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員長 後藤昇弘
 委員 楠木行雄
 委員 横山鐵男（部会長）
 委員 山本哲也
 委員 根本美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年6月25日 04時30分～07時30分ごろの間に船長が落水したものと考えられる。）
発生場所	北海道豊浦町豊浦漁港の南西方沖3海里付近（概位 北緯42°33.4′ 東経140°38.8′）で本船が発見された。
事故調査の経過	平成21年6月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第二十八栄進丸、4.8トン HK3-126336（漁船登録番号）、個人所有 12.73m(Lr)×3.24m×1.01m、FRP ディーゼル機関、355kW（漁船法馬力数）、平成18年6月4日
乗組員等に関する情報	船長 男性 34歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成12年1月28日 免許証交付日 平成16年8月17日 (平成22年1月27日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年6月25日02時00分ごろ、船長及びその親族が乗り組み、豊浦漁港を出港し、同港南西方沖3海里付近のホタテ貝養殖施設でホタテ貝の漁獲作業を行い、いったん帰航した。 04時30分ごろ、本船は、ホタテ貝の漁獲作業を続けるため、船長が単独で乗り組み、再度、ホタテ貝養殖施設に向けて出港し、親族は出荷作業を行うため陸に残った。 ホタテ貝の漁獲作業は、1時間30分ほどで終了するのに船長が帰航しなかったため、07時00分ごろ、親族が無線で本船に呼びかけたが応答がなく、付近で操業中の僚船がその無線を傍受して様子を見に行ったところ、07時30分ごろ、ホタテ貝養殖施設に係留された無人の本船を発見した。 発見した僚船から連絡を受けた船長所属の漁業協同組合は、海上保安庁及び水難救難所に通報した。

	<p>僚船約20隻、巡視艇及び航空機により周辺海域を捜索した結果、15時10分ごろ、僚船がホタテ貝養殖施設付近の海底に沈んでいた船長を発見した。船長は病院に搬送され、溺死と検案された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 快晴、風向、風力 ほとんどなし、視界 良好、気温 約15℃（06時00分） 海象：平穏、表面水温 約16℃</p>	
その他の事項	<p>本船が発見されたとき、主機は中立運転とし、揚網機を運転したまま養殖施設に右舷着けで係留され、船内には、収穫作業に10分程度を要する量のホタテ貝約200kgが残されていた。</p> <p>船長は、ホタテ貝の漁獲作業には十分慣れていた。</p> <p>船長は、ふだんから救命胴衣を着用しており、本事故発生前、親族とホタテ貝の漁獲作業のため出航したときも、ジャンパーの下に着用していた。</p> <p>本船発見時、船橋内に救命胴衣が残されており、発見された船長は救命胴衣を着用していなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>不明</p> <p>船長は、救命胴衣を着用せずに落水したため、溺死した可能性があると考えられる。</p> <p>船長が落水した状況について明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が豊浦町豊浦漁港沖においてホタテ貝の漁獲作業中、船長が、救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。</p>	